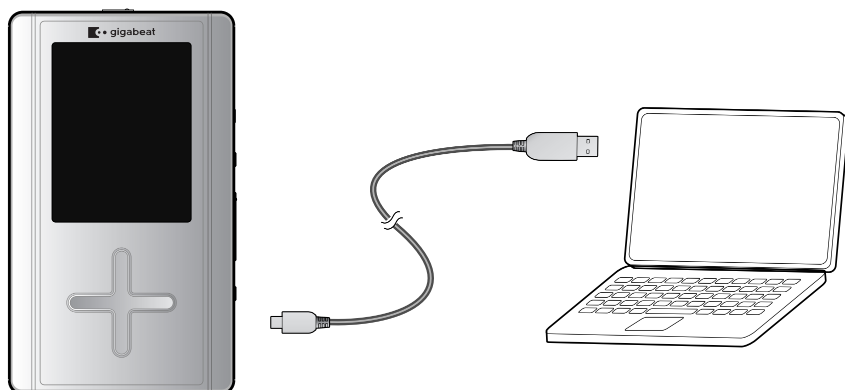
TOSHIBA

gigabeat F60 / F20 / F10

アプリケーションソフト

gigabeat room

取扱説明書



この取扱説明書では、東芝HDDオーディオプレーヤーgigabeatと組み合わせて使うアプリケーションソフトgigabeat roomのインストール方法と基本的な使いかた、およびWindows Media Player 9シリーズまたはWindows Media Player 10を使っての転送の方法について説明しています。
gigabeat roomをお使いになる前に、「東芝HDDオーディオプレーヤー取扱説明書」もご覧ください 。

使用上のお願いとお知らせ

ソフトウェアおよび取扱説明書について

- 添付のソフトウェアおよびこの取扱説明書の一部または全部を、許可なく転載したり複製することはできません。
- 添付のソフトウェアおよびこの取扱説明書は、お客様のパソコン等で使用できます。
- 添付のソフトウェアおよびこの取扱説明書によって機器を使用して、お客様または第三者にいかなる損害が発生した場合にも、当社はその責任を一切負いかねますのでご了承ください。
- 意匠、仕様、ソフトウェアおよびこの取扱説明書の内容は、改良のため予告なく変更することがありますのでご了承ください。
- この取扱説明書で記載しているパソコンの画面は一例です。実際の画面と異なる場合があります。また、記載の誤りなどについての補償はご容赦ください。

商標について

- gigabeat は株式会社東芝の登録商標です。プラスタッチ、gigabeat room および RipRec は株式会社東芝の商標です。
- Microsoft 、Windows および Windows Media は米国マイクロソフト社の米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- Pentium はアメリカ合衆国および他の国におけるインテルコーポレーションおよび子会社の登録商標または商標です。
- Gracenote® と CDDB® は、グレースノート社の登録商標です。Gracenote ロゴおよびロゴ標記、Gracenote CDDB ロゴ及び "Powered by Gracenote" ロゴはグレースノート社の商標です。
  グレースノート社からの CD 情報及び音楽関連データ ©2000-2004 Gracenote, Inc.
  Gracenote CDDB® クライアントソフトウエア ©2000-2004 Gracenote, Inc.
  この製品及びサービスは以下の米国特許技術の１つもしくは複数で実現されています。
  #5,987,525; #6,061,680; #6,154,773, #6,161,132, #6,230,192, #6,230,207, #6,240,459, #6,330,593 及びその他の特許や申請中特許。米オープングローブ社からの米国特許＃ 6,304,523 のライセンスにより、供与されるサービスまた製造されるデバイス製品。

著作権について

- お客様が記録したものは、個人として楽しむなどのほかは、著作権法上、権利者に無断で使用できません。
- 音楽、映像、コンピュータ・プログラム、データベースなどは著作権法によって、その著作者および著作権者の権利が保護されています。こうした著作物を複製することは、個人的にまたは家庭内で使用する目的でのみ行うことができます。上記の目的を超えて、権利者の了解なくこれを複製（データ形式の変換を含む）、改変、複製物の譲渡、ネットワーク上での配信などを行うと、「著作権侵害」「著作者人格権侵害」として損害賠償の請求や刑事処罰を受けることがあります。本製品を使用して複製などをなされる場合には、著作権法を遵守の上、適切なご使用を心がけていただきますよう、お願いいたします。

オーディオデータについて

- 本製品やパソコンの不具合で、オーディオデータやその他のデータが破損または消去された場合、そのデータ内容の補償はできません。
- 転送したオーディオデータは、暗号化されているため、別の gigabeat や他のメディアにコピーしても再生できません。

アプリケーションのバージョンアップについて

- 出荷以降、より良くお使いいただくために、アプリケーションソフトのバージョンアップをする場合があります。バージョンアップの方法などはホームページに掲載いたします。

gigabeat ホームページ　http://www.gigabeat.net/

もくじ

はじめに

準備する

使用する

その他

gigabeat room とは

gigabeat room は、gigabeat と組み合わせて使うアプリケーションソフトです。

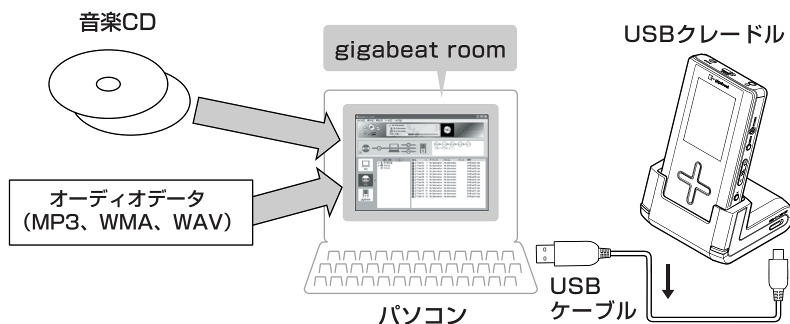
gigabeat room ができること

■ 音楽 CD とパソコンのオーディオデータの転送

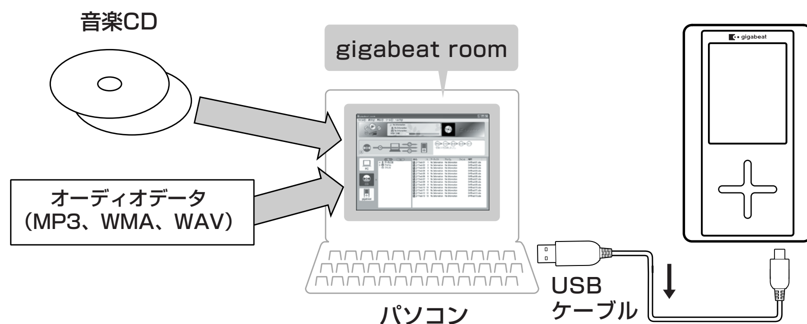
音楽 CD のオーディオデータを WMA 形式にし、暗号化して gigabeat に転送できます。このとき、WMA ファイルはパソコン内には保存されません。

パソコン上のオーディオデータを、暗号化して gigabeat に転送できます。

●パソコンと gigabeat を USB クレードル（MEGF60 に付属）を使って接続



●パソコンと gigabeat を直接接続



お知らせ

- gigabeat room を使って音楽 CD のオーディオデータをパソコンに保存することはできません。

■ ライブラリの管理

- パソコン内、gigabeat 内に保存されているオーディオデータのライブラリ（アーティスト、アルバム、ジャンル、プレイリスト）を表示できます。
- パソコン内、gigabeat 内に保存されているタグ情報（用語➪「東芝 HDD オーディオプレーヤー取扱説明書」57 ページ）を編集できます。
- プレイリストの作成や編集ができます。

■ オーディオデータの再生

パソコン内、音楽 CD のオーディオデータを再生できます。

お願い

- gigabeat room、Windows Media Player 9 シリーズまたはWindows Media Player 10（以降Windows Media Player 9 シリーズ／10と記載します）を使ってgigabeatに転送したオーディオデータは、暗号化されているため、gigabeat 以外では再生できません。
- gigabeat room、Windows Media Player 9 シリーズ／10以外を使ってgigabeatにオーディオデータを入れても、gigabeat では再生できません。
- USB ハブを使用してパソコンと接続した場合の動作は保証できません。

gigabeat room に必要なシステム

適応パソコン： IBM PC/AT 互換機

- OS： Microsoft® Windows® 2000 Professional
  Microsoft® Windows® XP Home Edition
  Microsoft® Windows® XP Professional
  （いずれも標準インストール、日本語版のみ）
- CPU： Pentium® II 300MHz 以上（Pentium® III 1GHz 以上を推奨）
- メモリ： 128MB 以上
- ハードディスク空き容量： オーディオデータを除き 100MB
- USB ポート
- CD-ROM ドライブ
- Internet Explorer 5.01 以降（2004 年 9 月現在。将来のバージョンでは動作保証できないことがあります。）
- Windows Media® Player 9 シリーズ以降

お願い

- すべてのパソコンの動作を保証するものではありません。
- 自作パソコンは動作保証いたしません。
- OS をアップグレードする場合は、事前に gigabeat room を一旦アンインストールし、OS をアップグレードしたあとに再度インストールしてください。
- Windows 2000 Professional、Windows XP Home Edition、Windows XP Professional で gigabeat room をお使いになるには、管理者(Administrator)の権限が必要です。
- Dual CPU 構成の Windows 2000 Professional、Windows XP Professional システムおよびハイパー・スレッディング・テクノロジ インテル Pentium4 プロセッサを搭載した Windows XP Home Edition / Professional では、動作を保証しておりません。
- セキュリティシステムの処理上、他のセキュリティシステムを採用しているアプリケーションと同時に使用した場合は、アプリケーションのロック、システムの再起動などの問題が発生する場合があります。
- gigabeat room と TOSHIBA Audio Application または TOSHIBA Audio Manager は、同時に起動することができません。
- gigabeat room、TOSHIBA Audio Application、TOSHIBA Audio Manager のうち、ふたつ以上がインストールされている場合、どれかひとつをアンインストールすると、ほかのソフトウェアが起動しなくなる場合があります。その場合は、各ソフトウェアの CD-ROM をパソコンに挿入し、再インストールしてください。

アプリケーションソフトをインストールする

gigabeat room、Windows Media driver for gigabeat、USB ドライバをインストールします。インストールする前に、ほかのアプリケーションを終了してください。
gigabeat やUSB クレードルは、アプリケーションソフトのインストールをしてから接続してください。

1 付属のソフトウェアCD-ROMをパソコンのCD-ROMドライブに入れる

CD-ROM が自動認識され、セットアップ画面が表示されます。

セットアップ画面が表示されない場合は、エクスプローラなどからCD-ROMの中の「Install.exe」をダブルクリックしてください。

2 「アプリケーションソフトウェアのインストール」ボタンをクリックする



インストールの準備画面を表示後、ウィザード画面が表示されます。

3 「次へ」ボタンをクリックする

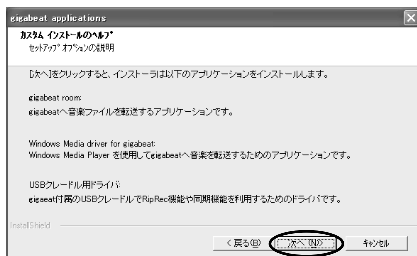


「gigabeat applications のインストールウィザード」が開始されます。

はじめに
準備する
使用する
その他

はじめに
準備する
使用する
その他

4 「次へ」ボタンをクリックする



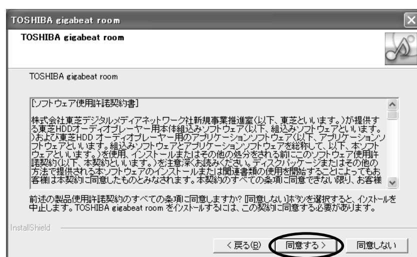
gigabeat room のインストールのウィザード画面が表示されます。

5 「次へ」ボタンをクリックする



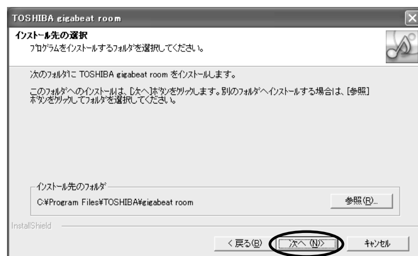
「TOSHIBA gigabeat room のインストールウィザード」が開始され、「ソフトウェア使用許諾契約書」画面が表示されます。

6 内容をよく読み、同意の上で「同意する」ボタンをクリックする



「インストール先の選択」画面が表示されます。
お使いのパソコンの環境によって表示される内容が異なる場合があります。

7 インストール先を指定し、「次へ」ボタンをクリックする



「インストールタイプ」画面が表示されます。

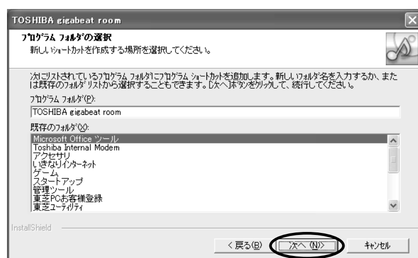
「インストールタイプ」画面内のチェックボックスの内容を確認してください。

8 「次へ」ボタンをクリックする



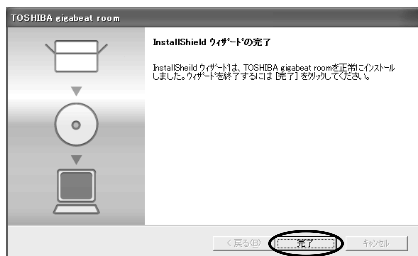
「プログラムフォルダの選択」画面が表示されます。

9 「次へ」ボタンをクリックする



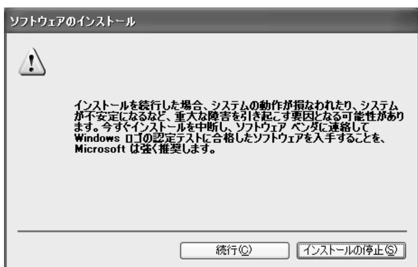
インストールが開始されます。インストールが完了すると、「InstallShield ウィザードの完了」画面が表示されます。

10 「完了」ボタンをクリックする



「ソフトウェアのインストール」画面が表示されます。
お使いのパソコンのOSによっては「ソフトウェアのインストール」画面は表示されません。手順12へ進んでください。

11 「続行」ボタンをクリックする



「Windows Media driver for gigabeat」と「USBクレードル用ドライバ」がインストールされます。インストールが完了すると、「インストール結果の表示」画面が表示されます。

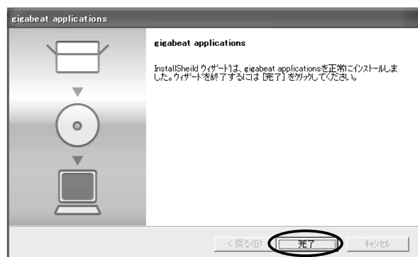
12 「次へ」ボタンをクリックする



「InstallShieldウィザードの完了」画面が表示されます。

はじめに
準備する
使用する
その他

13 「完了」ボタンをクリックする



オーディオデータを gigabeat に転送する手順

gigabeat room を使って、パソコンからオーディオデータを gigabeat に転送します

gigabeatとパソコンを直接接続

1. 音楽CDをパソコンのCD-ROMドライブに入れる
2. パソコンとgigabeatを接続する
⇨14ページ
3. gigabeat roomを起動する
⇨17ページ
4. オーディオデータをgigabeatに転送する
⇨22ページ
5. gigabeatをパソコンから取りはずす
⇨16ページ

USBクレードルを使ってgigabeatとパソコンを接続

1. 音楽CDをパソコンのCD-ROMドライブに入れる
2. USBクレードルを使ってパソコンとgigabeatを接続する
⇨14ページ
3. USBクレードルの →ボタンを押してオーディオデータを転送する
⇨23ページ
4. gigabeatをパソコンから取りはずす
⇨16ページ

Windows Media Player 9 シリーズ／ 10 を使って gigabeat にオーディオデータを転送することもできます。
「Windows Media Player9 シリーズ／ 10 を使用するときは」⇨36 ページ

■ Windows Media Player 9 シリーズ／ 10 でオーディオデータを取り込む場合のお願い

Windows Media Player で音楽 CD からオーディオデータをパソコンに取り込む場合は、以下の設定をしてください。

1 「ツール」メニューの「オプション」を選びます。

2 「音楽の録音」タブを選びます。

3 「保護された音楽を録音する」のチェックをはずします。

パソコンとgigabeatを接続する

gigabeatにオーディオデータを転送するため、パソコンとgigabeatをUSB接続します。ネットワークを使って接続する方法は、「ネットワーク編　取扱説明書」をご覧ください。

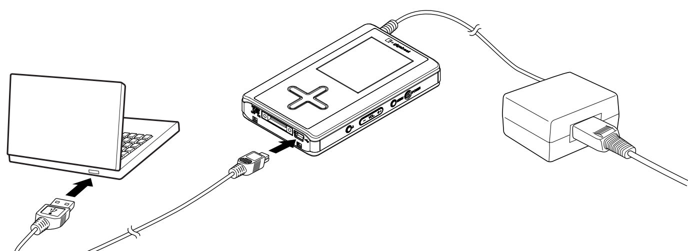
1 パソコンを起動する

2 gigabeatにACアダプターを接続する

「内蔵電池を充電する」➡「東芝HDDオーディオプレーヤー取扱説明書」28ページ

3 USBケーブルを使って、パソコンとgigabeatを接続する

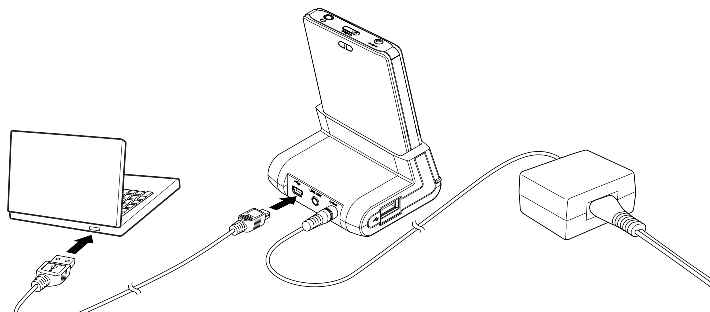
● **パソコンとgigabeatを直接接続**



パソコンにgigabeatをはじめて接続すると、gigabeatが自動的に検出され、ドライバが自動的にインストールされます。

● **パソコンとgigabeatをUSBクレードルを使って接続**

USBクレードルのUSB／LINE切換スイッチを「USB」にしてください。



gigabeatを接続したUSBクレードルをはじめてパソコンに接続すると、USBクレードルが自動的に検出され、USBクレードルのドライバが自動的にインストールされます。

もし、パソコンの画面に「新しいハードウェアの検出ウィザード」が表示された場合は、画面の指示に従ってUSBクレードルのドライバをインストールしてください（➡40ページ）。

お願い

- パソコンと gigabeat をUSB 接続するときは、ＡＣアダプターを接続してください。ＡＣアダプターを接続していないと、電池の消耗によってgigabeatに記録されているデータが破壊されることがあります。
- パソコンからデータの転送をしているときは、ＡＣアダプターやUSBケーブルを抜いたり、USBクレードルからgigabeatを抜いたりしないでください。gigabeatに記録されているデータが破壊されることがあります。

お知らせ

- パソコンとgigabeatを接続したときは、gigabeatの表示画面に「USB接続中」と表示されます。
- 「USB接続中」のときは、gigabeatの操作はできません。また、再生中に接続すると、再生は止まります。

パソコンから gigabeat を取りはずす

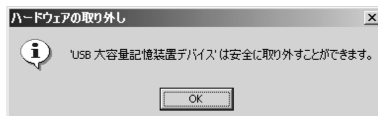
パソコンから gigabeat を取りはずすには、以下の手順で行ってください。
パソコンからの取りはずしについて、詳しくは、パソコンの取扱説明書をご覧ください。

■ Windows 2000 Professional の場合

1 タスクバーの 「ハードウェアの取り外しまたは取り出し」をクリックする

2 USB 大容量記憶装置デバイス - ドライブ (E:) を停止します をクリックする

3 右のメッセージが表示されたら、「OK」ボタンをクリックしてgigabeatからUSBケーブルを抜く

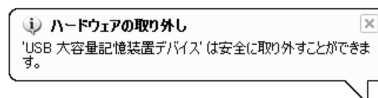


■ Windows XP Home Edition/Windows XP Professional の場合

1 タスクバーの 「ハードウェアの安全な取り外し」をクリックする

2 USB 大容量記憶装置デバイス - ドライブ (E:) を安全に取り外します をクリックする

3 右のメッセージが表示されたら、メッセージをクリックしてgigabeatからUSBケーブルを抜く



※ 手順２の画面はドライブ(E)を取りはずす例になっていますが、お使いのパソコンの環境によって、ドライブは変わります。

gigabeat room を起動する

起動のしかた

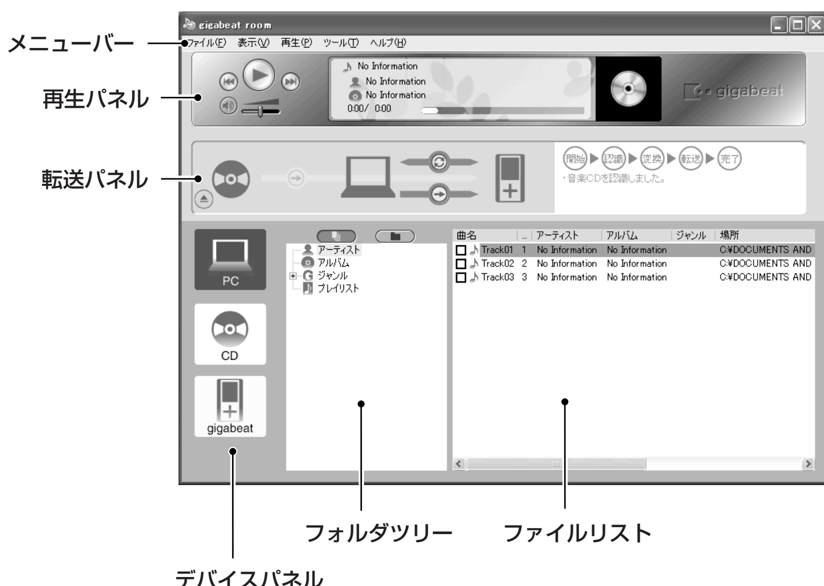
1 スタートメニューの「すべてのプログラム」※から「TOSHIBA gigabeat room」の「gigabeat room」をクリックする

gigabeat room のメイン画面が表示されます。

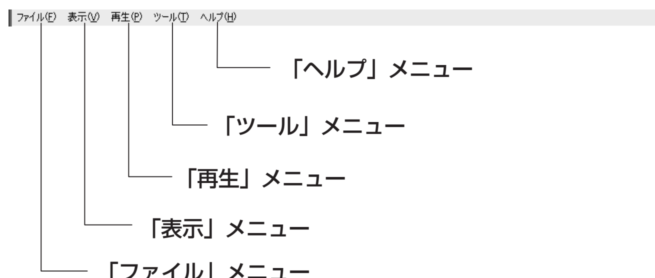
※ Windows 2000 の OS の場合は「プログラム」と表示されます。

最初に起動したとき、パソコン内のライブラリ（⇨21 ページ)を作成するかどうかを聞いてきます。作成する場合は、「はい」を、作成しない場合は「いいえ」を選択してください。ここで「いいえ」を選択しても、ライブラリの更新（⇨31 ページ）をすれば、ライブラリを作成できます。

gigabeat room のメイン画面について



■ メニューバー



●「ファイル」メニュー

新規プレイリスト	新しくプレイリストを作成します。
ブックマークをプレイリストに変換	gigabeat のブックマークをプレイリストに変換します。
削除	選んだフォルダやファイルを削除します。
フォルダ作成	新しくフォルダを作成します。
名前の変更	選んだフォルダやファイルの名前を変更します。
プロパティ	選んだフォルダやファイルのプロパティを表示します。
終了	gigabeat room を終了します。

●「表示」メニュー

表示モード	ライブラリビュー *1 とフォルダビュー *2 を切り換えます。
ドライブの選択	表示するドライブを選択します。
1 つ上の階層へ	現在表示しているフォルダの一つ上のフォルダを表示します。
最新の状態に更新	フォルダやファイルを最新の状態で再表示します。

●「再生」メニュー

再生／一時停止	CD やパソコン内のオーディオデータを再生します。再生中は一時停止します。
前へ	前のオーディオデータへスキップします。
次へ	次のオーディオデータへスキップします。
1 曲再生	チェックすると、一つのオーディオデータを再生します。
連続再生	チェックすると、オーディオデータを繰り返し再生します。
音量	音量を上げる／下げる／ミュートします。

●「ツール」メニュー

ライブラリ更新	ライブラリを最新の状態に更新します(➡31 ページ)。
同期	同期フォルダをフォルダごと gigabeat に転送します(➡32 ページ)。
RipRec の実行	音楽CDからオーディオデータを取り込んでgigabeatに転送します。
PC から gigabeat への転送	gigabeat へオーディオデータを転送します。
CD の取り出し	CD を取り出します。
ネットワークドライブの割当て／切断	gigabeat を指定したドライブに割当て／切断します(「ネットワークに接続／切断する」➡「ネットワーク編　取扱説明書」10 ページ)。

曲情報編集	曲情報を編集するためのダイアログを表示します(➡30 ページ)。
Gracenote への登録	Gracenote CDDB への登録画面を表示します(➡29 ページ)。
プロキシの変更	Gracenote CDDBに接続する場合のプロキシサーバーの設定をします。
Gracenote へ送信	変更した内容を Gracenote CDDB に送信します。
CD 詳細情報	CD の詳細情報を表示します。
オプション	同期フォルダの設定(➡32 ページ)、通信の設定（「ネットワークの設定をする」➡「ネットワーク編　取扱説明書」8ページ)、オーディオデータ転送の設定(➡34 ページ)をします。

● 「ヘルプ」メニュー

バージョン情報	バージョン情報を表示します。

*1　ライブラリビュー　：ライブラリ（アーティスト、アルバム、ジャンル、プレイリスト）をツリー構造で表示します。
*2　フォルダビュー　：フォルダをツリー構造で表示します。

■ ショートカットメニュー

フォルダやファイルを選んで右クリックすると、以下のような項目がショートカットメニューで表示されます。

フォルダを選んだ場合

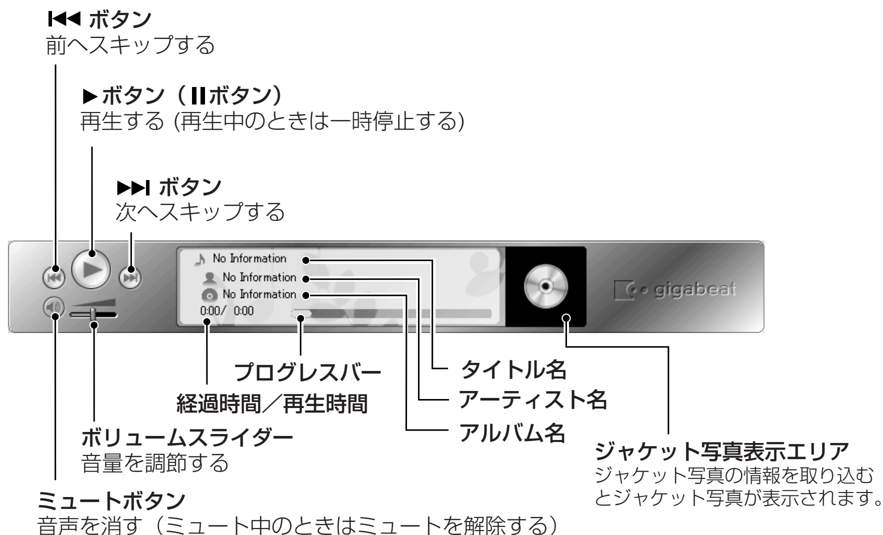
削除
フォルダ作成
名前の変更
gigabeat へ転送
プロパティ

ファイルを選んだ場合

曲情報編集
削除
フォルダ作成
名前の変更
プレイリストへ追加
gigabeat へ転送
プロパティ

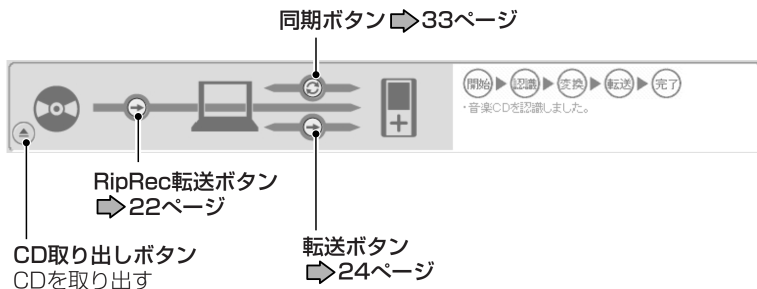
以下を除き、メニューバーから選んだメニューと同じ操作です。
プレイリストへ追加：　選んだオーディオデータをプレイリストに追加します。

■ 再生パネル



⏮ ボタン
前へスキップする
▶ボタン（IIボタン）
再生する (再生中のときは一時停止する)
⏭ ボタン
次へスキップする
No Information
No Information
No Information
0:00/ 0:00
gigabeat
プログレスバー
経過時間／再生時間
タイトル名
アーティスト名
アルバム名
ボリュームスライダー
音量を調節する
ジャケット写真表示エリア
ジャケット写真の情報を取り込むとジャケット写真が表示されます。
ミュートボタン
音声を消す（ミュート中のときはミュートを解除する）

■ 転送パネル



同期ボタン ⇨33ページ
開始
認識
変換
転送
完了
・音楽CDを認識しました。
RipRec転送ボタン
⇨22ページ
CD取り出しボタン
CDを取り出す
転送ボタン
⇨24ページ

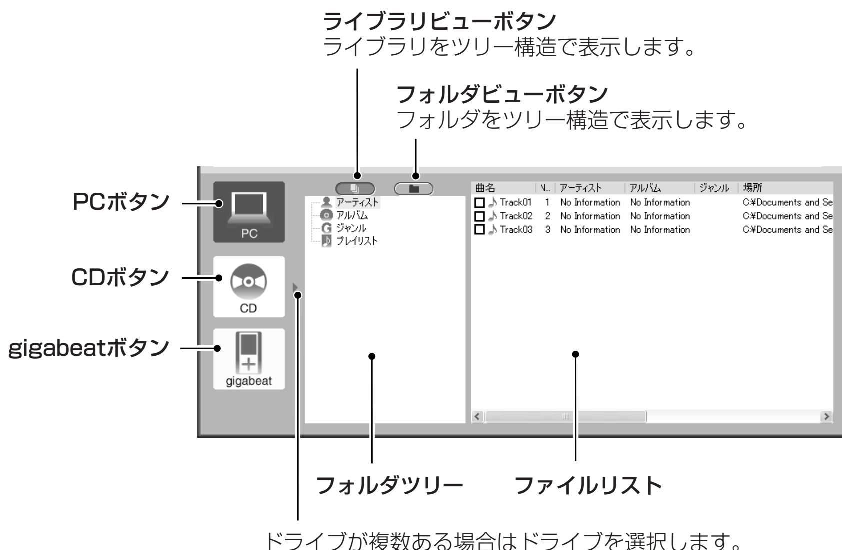
ライブラリを見る

オーディオデータのライブラリ（アーティスト、アルバム、ジャンル、プレイリスト）を見ることができます。

1 デバイスパネルの「PC ボタン」をクリックする

パソコン内のライブラリが表示されます。

- 「CD ボタン」をクリックすると、CD 内のライブラリを見ることができます。
- 「gigabeat ボタン」をクリックすると、接続した gigabeat 内のライブラリを見ることができます。



お知らせ

- ライブラリを利用するには、ライブラリの更新（⇨31 ページ）をして、ライブラリ用のデータベースを作る必要があります。
- フォルダツリーに表示されるドライブまたはフォルダのアイコンの左側にある⊞/⊟をクリックすることで、下のフォルダの表示／非表示が切り換えられます。
- 「表示」メニューの「フォルダビュー」を選ぶと、PC または gigabeat 内のフォルダツリーをそのまま表示します。

音楽CDのオーディオデータをgigabeatに転送する

音楽CDのオーディオデータを直接gigabeatに転送します。

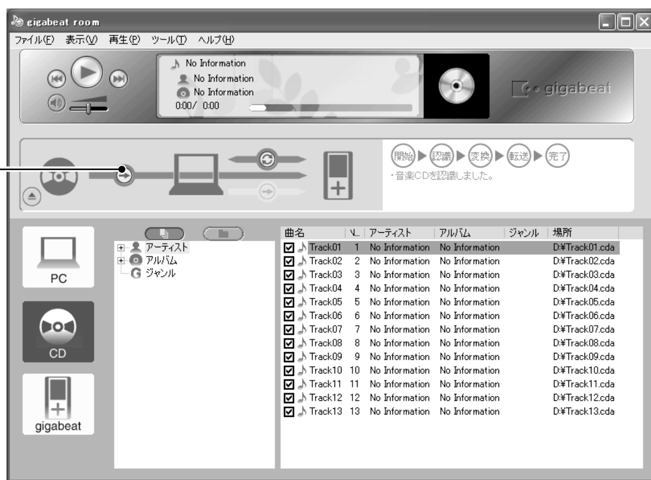
1 パソコンのCD-ROMドライブに音楽CDを入れる

2 パソコンとgigabeatを接続し、gigabeat roomを起動する

「パソコンとgigabeatを接続する」➪14ページ
「gigabeat roomを起動する」➪17ページ

3 転送パネルの「RipRec転送ボタン」をクリックする

「ツール」メニューの「RipRecの実行」をクリックしても転送できます。



RipRec転送ボタン

お知らせ

- WMAのビットレートは、「ツール」メニューの「オプション」で設定できます。
  「オーディオデータ転送の設定をする」➪34ページ
- gigabeat roomは、Gracenote CDDB（CDデータベース）（用語➪「東芝HDDオーディオプレーヤー取扱説明書」57ページ）に対応しています。インターネットに接続している場合は、音楽CDをパソコンのドライブに入れると、自動的にGracenote CDDBにアクセスしてCDの情報を検索・ダウンロードし、曲名・アーティスト名などといった情報を取り込みます。
  「Gracenote CDDBから音楽情報を取得する」➪29ページ
- オーディオデータをパソコンに取込み、保存することはできません。

ワンタッチで音楽CDのオーディオデータを転送する

USBクレードル（MEGF60に付属）の 💿→ ボタンを使って、音楽CDからオーディオデータをワンタッチで gigabeat に転送できます。

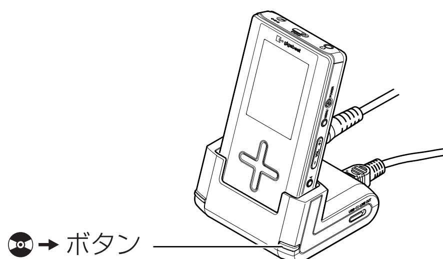
1 USB クレードルを使って、パソコンと gigabeat を接続する

「パソコンと gigabeat を接続する」➡14 ページ

2 パソコンの CD-ROM ドライブに音楽 CD を入れる

3 USB クレードルの「💿→」ボタンを押す

gigabeat roomが自動的に起動し、音楽CDのオーディオデータ転送が始まります。



お知らせ

- 暗号化されたオーディオデータは、「(元のオーディオデータ名).SAT」という名前になります。

オーディオデータを gigabeat に転送する

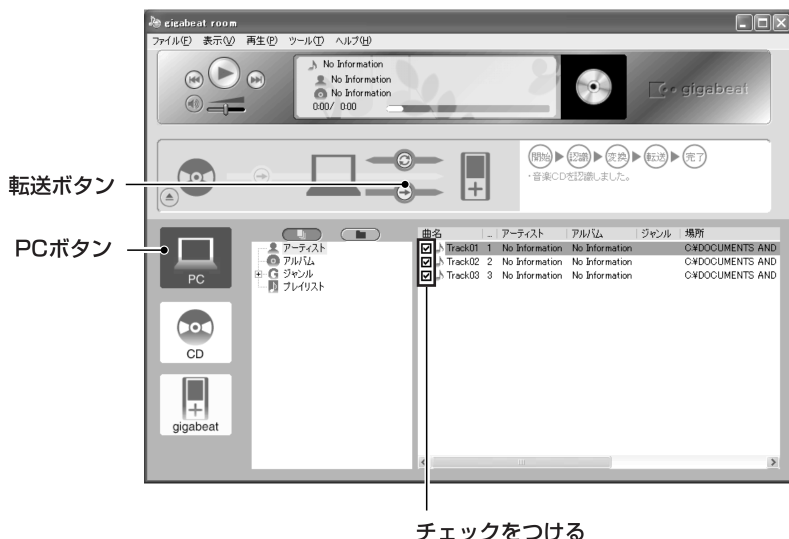
MP3、WMA、WAV のオーディオデータを gigabeat に転送できます。

1 パソコンとgigabeatを接続し、gigabeat roomを起動する

「パソコンと gigabeat を接続する」⇨14 ページ
「gigabeat room を起動する」⇨17 ページ

2 デバイスパネルの「PC ボタン」をクリックする

パソコン内のライブラリが表示されます。



3 転送したいオーディオデータにチェックをつけて、転送パネルの「転送ボタン」をクリックする

選んだオーディオデータを暗号化したものが gigabeat に転送されます。
以下の二つの方法でもオーディオデータの転送ができます。

- 「ツール」メニューの「PC から gigabeat への転送」をクリックする。
- 選んだオーディオデータを右クリックし、表示されたショートカットメニューから、「gigabeat へ転送」をクリックする。

お知らせ

- 暗号化されたオーディオデータは、「(元のオーディオデータ名).SAT」という名前になります。
- gigabeatに転送されたオーディオデータをパソコンにコピーしても(戻しても)、暗号化されたままで、元のMP3、WMA、WAVファイルには戻りません。
- 「同期」機能を使って転送することもできます（32ページ)。
- gigabeat roomでWMA Professional/WMA Lossless/WMA Voiceフォーマットのオーディオデータは転送できません。
- ライセンス付きWMAファイルは、Windows Media Playerを使って転送してください。
- gigabeatに転送できるファイルの種類と拡張子は以下のとおりです。
  WMAファイル：「.wma」
  MP3ファイル：「.mp3」
  WAVファイル：「,wav」

はじめに
準備する
使用する
その他

オーディオデータをgigabeatから削除する

gigabeatに転送したオーディオデータを削除できます。

1 パソコンとgigabeatを接続し、gigabeat roomを起動する

「パソコンとgigabeatを接続する」➡14ページ
「gigabeat roomを起動する」➡17ページ

2 デバイスパネルの「gigabeatボタン」をクリックする

gigabeat内のライブラリが表示されます。

3 削除したいオーディオデータを選び、「ファイル」メニューの「削除」をクリックする

「ファイルの削除の確認」画面が表示され、「はい」をクリックすると、選んだオーディオデータがごみ箱に移動します。
オーディオデータを右クリックし、表示されたショートカットメニューから「削除」を選んでも削除できます。

お知らせ

- 「削除」をしてもオーディオデータはごみ箱に移動するだけで、gigabeatの空き容量はふえません。オーディオデータを削除してgigabeatの空き容量を増やすには、ごみ箱を空にしてください。



プレイリストを作成する

指定したオーディオデータを再生するプレイリストを作成できます。

1 「ファイル」メニューの「新規プレイリスト」をクリックする

「新規プレイリスト」という名前のプレイリストが作成されます。
プレイリストを右クリックし、表示されたショートカットメニューから、「名前の変更」をクリックして、名前を変更できます。「ファイル」メニューの「名前の変更」をクリックしても名前を変更できます。

2 プレイリストに追加したいオーディオデータを右クリックする

3 表示されたショートカットメニューの「プレイリストへ追加」をクリックする

プレイリストにオーディオデータが追加されます。

お知らせ

- 選べるファイルは、パソコンではMP3、WMA、WAVの3種類で、gigabeatではSATファイルだけです。
- プレイリストの再生は、上から順に行われます。
- 曲名、トラック番号、アーティストなどの項目名をクリックすると、順番の並べ替えができます。gigabeat上のプレイリストは、順番を並び替えた結果を保存することはできません。
- デバイスパネルのgigabeatを選択し、「ファイル」メニューの「ブックマークをプレイリストに変換」をクリックすると、gigabeatでブックマーク登録したオーディオデータをプレイリストに変換します。

再生する

再生パネルを使って、音楽 CD、パソコン内のオーディオデータが再生できます。

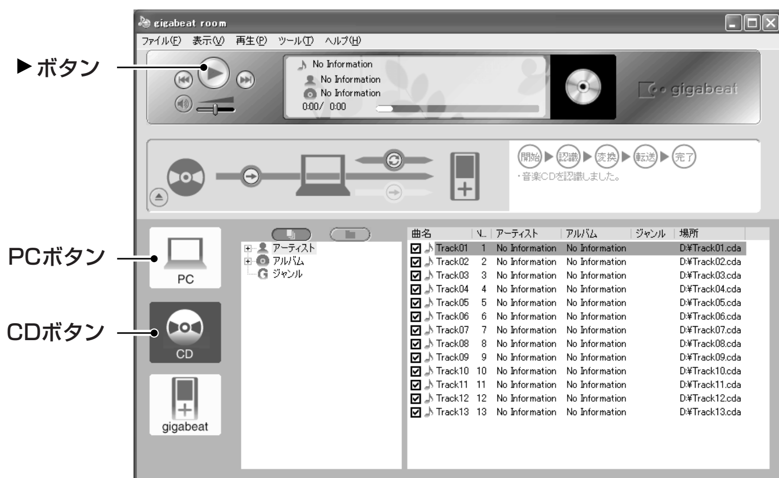
1 「CD ボタン」または「PC ボタン」をクリックする

CD 内またはパソコン内のライブラリが表示されます。

2 再生したいオーディオデータを選び、再生パネルの▶ボタンをクリックする

選んだオーディオデータを再生します。

また、再生パネルを使っていろいろな操作ができます（➪20 ページ）。



Gracenote CDDB から音楽情報を取得する

Gracenote CDDB（CD データベース）に登録すると、インターネットに接続して、CD の音楽情報を取得できます。

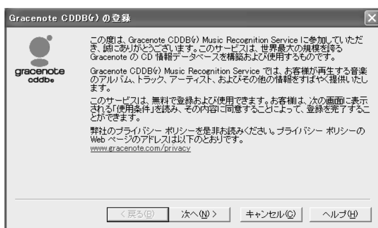
Gracenote CDDB を登録する

インターネットに接続して Gracenote CDDB に登録し、CD の情報を取得できるようにします。

1 「ツール」メニューの「Gracenote への登録」をクリックする

Gracenote CDDB の登録の画面が表示されます。

2 画面に従って登録する



お知らせ

- プロキシサーバーを使ってインターネットに接続する場合は、先に「ツール」メニューの「プロキシの変更」をクリックして、プロキシサーバーの設定をしてください。
- Gracenoteへの登録を完了させると、以降「ツール」メニューの「Gracenoteへの登録」は選択できなくなります。

Gracenote CDDB から音楽情報を取得する

インターネットに接続して、Gracenote CDDB から情報を取得します。

1 パソコンの CD-ROM ドライブに音楽 CD を入れる

2 デバイスパネルの「CD ボタン」をクリックする

Gracenote CDDB のサーバーに接続し、その音楽 CD のアルバム名、アーティスト名、曲名などの音楽情報を取得します。

お知らせ

- 「ツール」メニューの「CD詳細情報」をクリックすると、CDの詳細情報が表示されます。
- Gracenote CDDBから取得したCDに関する情報を変更して、Gracenote CDDBに送ることができます。「ツール」メニューの「Gracenoteへ送信」をクリックしてください。

曲情報を編集する

それぞれの曲情報（タイトル、アーティスト名、アルバム名）を変更できます。

1 オーディオデータを選び、「ツール」メニューの「曲情報編集」をクリックする

「曲情報編集」ダイアログが表示されます。

2 曲情報を変更し、「OK」をクリックする



曲情報が変更され、ライブラリが自動的に更新されます。
フォルダ内にオーディオデータがひとつしかない場合は、「前へ」、「次へ」ボタンは選択できません。

■ ジャケット写真の設定について

ジャケット写真のデータは、gigabeatへ転送され、再生画面などで表示されます。CDのオーディオデータにジャケット写真を貼り付けることはできません。



ジャケット写真の情報を取り込んだ場合はジャケット写真が表示されます。

ジャケット写真の表示を消します。

表示するジャケット写真のファイルを設定します。



ライブラリを更新する

パソコン内または gigabeat 内のライブラリを更新することができます。
ライブラリの更新には、自動更新と手動更新があります。

■ ライブラリの自動更新について

gigabeat内のライブラリは、パソコンからgigabeatにオーディオデータを転送したときに自動的に作成されます。ライブラリに登録されるのは、gigabeat roomを使って転送したオーディオデータだけです。SATファイルの曲情報編集時もライブラリが更新されます。
パソコン内のライブラリは、「同期」フォルダの下にあるオーディオデータだけが対象となります。

お願い

- エクスプローラなどでファイルの削除や名前の変更をした場合、ライブラリは更新されません。手動でライブラリを更新してください。

ライブラリを手動で更新する

1 「PC ボタン」または「gigabeat ボタン」をクリックする

パソコン内または gigabeat 内のライブラリが表示されます。

2 「ツール」メニューの「ライブラリ更新」をクリックする

パソコン内のライブラリを表示していたときはパソコン内のライブラリが更新され、gigabeat内のライブラリを表示していたときは、gigabeat内のライブラリが更新されます。

お願い

- エラーなどで中止された場合は、エラーの原因を取り除いた上で、もう一度更新をしてください。

同期フォルダを設定 / 転送する

パソコンに同期フォルダを設定しておくと、同期フォルダをフォルダごとgigabeatに転送できます。

同期フォルダを設定する

1 「ツール」メニューの「オプション」をクリックする

「オプション設定」ダイアログが表示されます。

2 「一般」タブの「同期フォルダ」の横の「参照」をクリックする



「フォルダの参照」画面が表示されます。

3 設定したいフォルダを選び「OK」をクリックする



「オプション設定」ダイアログに戻ります。

4 「OK」をクリックする

「オプション設定」ダイアログが閉じ、同期フォルダが設定されます。

はじめに
準備する
使用する
その他

同期フォルダを転送する

1 パソコンと gigabeat を接続する

2 「ツール」メニューの「同期」をクリックする

同期フォルダに設定したフォルダごと gigabeat に転送されます。
転送パネルの「同期ボタン」をクリックしても転送できます。

ワンタッチで同期フォルダを転送する

1 USB クレードルを使って、パソコンと gigabeat を接続する

「パソコンと gigabeat を接続する」➡14 ページ

2 USB クレードルの「 」ボタンを押す

gigabeat roomが自動的に起動し、同期フォルダに設定したフォルダごとgigabeatに転送されます。
gigabeat room が起動しているときは、転送パネルの「同期ボタン」または「ツール」メニューの「同期」をクリックしても、同期ができます。

お知らせ

- すでに転送されているファイルで、転送元のファイルの方が新しい場合は上書き転送されます。
- 転送元からファイルが削除されていても、gigabeatの方のファイルは削除されません。
- 同期フォルダの下にあるすべてのファイルが転送されます。
- 同期フォルダに、ルートフォルダを設定することはできません。

オーディオデータ転送の設定をする

gigabeat roomを使って、音楽CDからオーディオデータをgigabeatに転送するときの設定ができます。

1 「ツール」メニューの「オプション」をクリックする

「オプション設定」ダイアログが表示されます。

2 「RipRec」タブをクリックする



「RipRec」の設定画面が表示されます。

3 各項目を設定する



スライダを左右に動かし、音質を変更します。

音質を標準値に戻します。

RipRec転送時のファイル名の付けかたを設定します（35ページ）。

4 「OK」をクリックする

「オプション設定」ダイアログが閉じます。

はじめに

準備する

使用する

その他

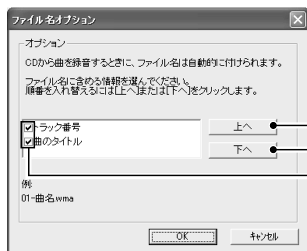
■ ファイル名の付けかたを設定する

1「RipRec」タブの「RipRec時のファイル名設定」をクリックする

「ファイル名オプション」画面が表示されます。

2 ファイル名に含める情報にチェックを入れる

3 ファイル名に含める情報の順番を入れ換える



4「OK」をクリックする

はじめに
準備する
使用する
その他

Windows Media Player9 シリーズ／10を使用するときは

Windows Media Player 9 シリーズ／ 10 を使っても gigabeat にオーディオデータを転送できます。Windows Media Player 9 シリーズ／ 10 は、Windows Media デジタル著作権管理(DRM)をサポートしており、ライセンス付きWMAファイルにも対応します。
アプリケーションソフトのインストールをしたときに、「Windows Media Playerがインストールされていません。インストールを中止します。」というメッセージが表示され、Windows Media driver for gigabeatがインストールできていなかった場合は、Windows Media Player 9 シリーズ／ 10 をインストールしてください。
「Windows Media driver for gigabeat をインストールする」➪41 ページ

■ 使用上の注意事項

Windows Media driver for gigabeatをインストールしたWindows Media Player 9 シリーズ／ 10 と gigabeat room の同時起動はできません。

オーディオデータを gigabeat に転送する

Windows Media Player 9 シリーズ／ 10 を使って、MP3、WMA、WAV のオーディオデータを gigabeat に転送します。

● **準備**

転送したいオーディオデータを準備し、パソコンと gigabeat を接続したら、Windows Media Player 9 シリーズ／ 10 を起動してください。

1 「デバイスへ転送」をクリックする

Windows Media Player 10 の場合は、ライブラリ表示のタイトル名を右クリックして表示されたショートカットメニューの「追加」から「同期リスト」を選びます。

2 転送したいオーディオデータを選ぶ

3 転送先のデバイスとしてgigabeatを選び、オーディオデータを転送するフォルダを指定する

4 「転送」ボタンをクリックする

Windows Media Player 10 の場合は、「同期の開始」ボタンをクリックします。
詳しくは、Windows Media Player 9 シリーズ／ 10 のヘルプをご覧ください。

お知らせ

- 転送したオーディオデータは、gigabeat roomで転送した場合と同様に、gigabeat用のオーディオフォーマット（SAT ファイル）に変換されます。
- 転送したオーディオデータは、gigabeat内の指定したフォルダにすべて保存されます。ただし、転送の際指定したフォルダ内に新しいフォルダは作成されません。
- 転送したオーディオデータのタグにタイトル名がはいっている場合は、そのタイトル名がgigabeat内のファイル名として保存されます。タグにタイトル名がはいっていない場合は、転送したファイル名が gigabeat 内のファイル名として保存されます。
- 転送するファイル名と同じ名称のファイル名が転送先にある場合は、強制上書きされます。
- ライセンス付きWMA ファイルは、そのライセンス条件によって gigabeatに転送できない場合があります。
- WMA/WAV ファイルは gigabeat に転送する際に以下のように変換されます。

転送前	gigabeat に転送後
WMA Professional	WMA CBR(32kbps ～ 160kbps)に変換
WMA Lossless	WMA CBR(32kbps ～ 160kbps)に変換
WMA Voice	WMA CBR(32kbps)に変換
WMA VBR	平均ビットレートが 32kbps ～ 160kbps の場合： → そのまま転送 平均ビットレートが 32kbps ～ 160kbps の範囲外の場合： → WMA CBR(32kbps ～ 160kbps)に変換
WAV(PCM)	WMA CBR(32kbps ～ 160kbps)に変換

■ Windows Media DRM付きのオーディオデータをgigabeatに転送する場合の注意

Windows Media player 9 シリーズから gigabeat に DRM 付きのオーディオデータを転送したときに、お使いになるパソコンの環境によっては次の現象が発生する場合があることが判明しております。現象が発生した場合は、以下の方法で対処してください。

（現象）
「検査しています」を表示したままになり、「転送の停止」ボタンをクリックしても転送を停止することができなくなる。



Windows Media Player シリーズ／ 10 を使用するときは（つづき）

（対処方法）

1 Windows Media player 9シリーズを終了する

2「Windowsタスクマネージャ」を起動する

（Microsoft Windows XP Home Edition / XP Professional の場合）
Ctl-Alt-Del キーを同時に押す

（Microsoft Windows 2000 Professional の場合）
Ctl-Alt-Delキーを同時に押して、「Windowsのセキュリティ」から「タスクマネージャ」をクリックし「Windows タスクマネージャ」を起動する



3「プロセスタブ」を選ぶ

4 プロセスの一覧が表示されるので、「イメージ名」から「wmplayer.exe」を選択し、ウィンドウ右下の「プロセスの終了」ボタンを押して終了する



はじめに
準備する
使用する
その他

おもなエラーメッセージ

エラーメッセージ	内容＆対処方法
指定されたオーディオデータ“ファイル名”は転送できません。（このオーディオデータはコピー禁止です。）	コピー禁止情報が付いたオーディオデータを転送しようとしました。
指定されたオーディオデータ“ファイル名”は転送できません。（サンプリング周波数・ビットレートが対象外です。）	gigabeat で対応していない、サンプリング周波数・ビットレートのオーディオデータを転送しようとしました。 （「東芝 HDD オーディオプレーヤー取扱説明書」の「仕様」）
指定されたオーディオデータ“ファイル名”は転送できません。（コンテンツ保護されたデータには対応していません。）	コンテンツ保護されている WMA 形式のオーディオデータを転送しようとしました（⇨13 ページ）。
指定されたオーディオデータ“ファイル名”は転送できません。（対応していない形式です。）	対応していない形式の MP3、WMA、WAV ファイルを転送しようとしました。
CDDB へのアクセスに失敗しました。ネットワークがつながっているか確認してください。	ネットワークに繋がっていないため CDDB のサーバーにアクセスできません。ネットワークに接続後、再度ディスクを CD ドライブにセットするか、内容の更新をしてください。
1）CD の読み込みに失敗しました。 2）デバイスのオープンに失敗しました。CD ドライブが正しく接続されているか確認してください。	取込み中に CD 読み込みエラーが発生しました。CD ドライブや CD メディアの状態を確認してください。

ドライバを個別にインストールする

「アプリケーションソフトウェアのインストール」（➡7ページ）を実行すると、gigabeat room、Windows Media driver for gigabeat、USBクレードルのドライバがインストールされますが、個別に、以下のようにインストールできます。

USB クレードルのドライバをインストールする

gigabeat を接続したUSB クレードルをパソコンに接続したときに、パソコンの画面に「新しいハードウェアの検出ウィザード」が表示された場合は、画面の指示に従って以下のようにUSB クレードルのドライバをインストールしてください。

■ Windows 2000 Professional の場合

1 「新しいハードウェアの検索ウィザードの開始」画面で、「次へ」ボタンをクリックする

2 「デバイスに最適なドライバを検索する（推奨）」をチェックし、「次へ」ボタンをクリックする

3 「場所を指定」をチェックし、「次へ」ボタンをクリックする

4 付属のソフトウェアCD-ROMをパソコンのCD-ROMドライブに入れる

5 「参照」ボタンで、CD-ROMの中の「¥Driver」を指定し、「OK」ボタンをクリックする

ハードウェアデバイスのドライバファイル検索が終了しましたの画面が表示されます。

6 「次へ」ボタンをクリックする

インストールが実行され、新しいハードウェアの検索ウィザードの完了の画面が表示されます。

7 「完了」ボタンをクリックする

■ Windows XP Home Edition/Windows XP Professional の場合

1 「新しいハードウェアの検索ウィザードの開始」画面で、「次へ」ボタンをクリックする

「ソフトウェア検索のため、Windows Updateに接続しますか」と表示されている場合は、「いいえ、今回は接続しません」をチェックし、「次へ」ボタンをクリックします。

OSのバージョンによっては「新しいハードウェアの検索ウィザードの開始」画面は、表示されません。手順2へ進んでください。

2 「新しいハードウェアの検索ウィザード」画面で、「一覧または特定の場所からインストールする」を選択し、「次へ」ボタンをクリックする

3 付属のソフトウェアCD-ROMをパソコンのCD-ROMドライブに入れる

4 「次の場所を含める」をチェックし、「参照」ボタンで、CD-ROMの中の「¥Driver」を指定し、「次へ」ボタンをクリックする

警告の画面が表示されます。

5「続行」ボタンをクリックする

インストールが実行され、ハードウェアの更新ウィザードの完了の画面が表示されます。

6「完了」ボタンをクリックする

Windows Media driver for gigabeat をインストールする

Windows Media Player 9 シリーズ／10がインストールされていなければ、Windows Media Player 9 シリーズ／10を先にインストールしてください。
Windows Media Player 9 シリーズ／10は、マイクロソフト社のホームページからダウンロードしてください。

1 付属のソフトウェアCD-ROMをパソコンのCD-ROMドライブに入れる

CD-ROMが自動認識され、セットアップ画面が表示されます。

セットアップ画面が表示されない場合は、手順3に進んでください。

2「CDを参照します」ボタンをクリックする

CDの中を参照できます。

3 CD-ROMの中の「¥WMD¥Setup.exe」をダブルクリックする

インストールのウィザード画面が表示されます。

4 画面の指示に従ってWindows Media driver for gigabeatをインストールする

よくある質問

Q：gigabeat room で gigabeat が認識されない。

A：USB ハブを使用してパソコンと接続している場合は認識できないことがあります。
USB ハブを使用しないでパソコンと接続してください。

Q：オーディオデータを gigabeat に転送できない。

A：gigabeat で再生できないオーディオデータは gigabeat に転送できません。
gigabeat で再生できるオーディオデータについては、「東芝 HDD オーディオプレーヤー取扱説明書」の「仕様」をご覧ください。

Q：Windows Media Player で取り込んだオーディオデータを gigabeat に転送できない。

A：Windows Media Player で取り込んだオーディオデータのうち、著作権保護の対象となっているものは、転送することができません。「Windows Media Player 9 シリーズ／ 10 でオーディオデータを取り込む場合のお願い」（13 ページ）をご覧ください。

Q：gigabeat の取りはずしに失敗した。

A：gigabeat room や、エクスプローラなどで gigabeat のドライブや gigabeat 内のファイルを開いていると、取りはずせない場合があります。アプリケーションを終了させてから、再度、取りはずしをしてください。



困ったときは

状況 ： gigabeat を起動したが、「NO SYSTEM FOUND ON HDD」と表示され、起動できない。

対策 ： ハードディスク上のファームウェアデータが壊れているため、gigabeat が起動できません。

ファームウェアデータを修復する必要があります。

以下の「ファームウェアデータの修復方法」に従って、ファームウェアデータを修復してください。

状況 ： gigabeat の HDD をフォーマットしてしまった。なにか設定は必要か？

対策 ： ハードディスク上のファームウェアデータを修復する必要があります。

以下の「ファームウェアデータの修復方法」に従って、ファームウェアデータを修復してください。

●ファームウェアデータの修復方法

1 gigabeatとパソコンをUSB接続する

2 パソコンのエクスプローラを起動する

3 gigabeat roomがインストールされているフォルダを開く

「スタート」→「すべてのプログラム」※→「TOSHIBA gigabeat room」→「gigabeat room Program Folder」をクリックすると、gigabeat room がインストールされているフォルダが開きます。

※ Windows 2000 の OS の場合は「プログラム」と表示されます。

通常は C:¥Program Files¥TOSHIBA¥gigabeat room となります。

4 手順3で開いたフォルダ内にある「GBSYSTEM」というフォルダをgigabeatのルートにコピーする

5 「ハードウェアの安全な取外し」を使って、gigabeatを取りはずす

6 gigabeatの画面が消えたら、gigabeatを起動する

困ったときは（つづき）

状況 ： MEGF60 で、OS のフォーマットツールを使ってフォーマットしたため、ハードディスクの全領域を使うことができなくなった。

対策 ： gigabeat format を使ってフォーマットしなおしてください。

● gigabeat format を使ってフォーマットする

1 gigabeat roomがインストールされているフォルダを開く

「スタート」→「すべてのプログラム」※→「TOSHIBA gigabeat room」→「gigabeat room Program Folder」をクリックすると、gigabeat room がインストールされているフォルダが開きます。

※ Windows 2000 の OS の場合は「プログラム」と表示されます。

通常は C:¥Program Files¥TOSHIBA¥gigabeat room となります。

2 手順1で開いたフォルダ内にあるGBFormat.exeをダブルクリックする

gigabeat format が起動し、gigabeat format の画面が表示されます。

3 ドライブを確認する

ドライブ欄に、接続されているgigabeatのドライブレターが表示されていますので、確認してください。

※ 画面はドライブが「F」の例になっていますが、お使いのパソコンの環境によって、表示は変わります。



4 クイックフォーマットにするかしないかを設定する

フルフォーマットにしたい場合は、「クイックフォーマットする」のチェックをはずしてください。

5 「フォーマット」ボタンをクリックする

フォーマット警告ダイアログが表示されます。

6 フォーマット警告ダイアログの「OK」をクリックする

フォーマットが開始されます。

フォーマットが終了するとフォーマット完了ダイアログが表示されます。

7 フォーマット完了ダイアログの「OK」をクリックする

手順 1 の gigabeat format の画面に戻ります。

8 「終了」ボタンをクリックする

gigabeat format の画面が消えます。

お知らせ

- 他のアプリケーション（エクスプローラなど）で、gigabeat を参照している場合は、フォーマットできません。
- gigabeat formatでのフォーマットが終わったら、ファームウェアデータの修復も行ってください。

- この取扱説明書に描かれているイラスト、画面表示などは見やすくしているために実際とは多少異なる場合があります。
- アイコンの表示位置などは変更になる場合があります。

MEMO

操作上のご質問、ご相談は以下へお願いします。

東芝モバイル AV サポートセンター
受付時間　月～土（祝祭日、年末、年始等を除く）
10:00 ～ 20:00
TEL 0570-05-7000 （ナビダイヤル）
FAX 03-3258-0470

ホームページもご覧ください。

http://www.gigabeat.net/

株式会社 **東芝**
デジタルメディアネットワーク社
新規事業推進室
〒105－8001　東京都港区芝浦1－1－1
＊所在地は変更になることがありますのでご了承ください。

GX1C00066210
PX1C000662AA



